

「めざせ 日本一！」
— 素敵な人になろう —

「幸せを願って」

NO.234

H 26. 1. 10

(株) ユ キ
ダスキン新居浜支店
社長 小野 正師

合掌 2014 年(H26)の新年、明けましておめでとうございます。お正月は、ご家族皆さまお揃いで、ゆっくりのんびり過ごされましたか？本年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私の四国・新居浜の正月三が日は、温かな晴天が続き、穏やかな小春日和のような日々でした。家内と二人で近所のお寺とお宮を参り、前厄でもあり、これまでの人生を心から感謝申し上げ、年末に誕生した 5 人目の孫を含めた家内安全を祈りました。もちろん、ダスキン本部と加盟店の安定と繁栄を祈り、お客さまや地域への更なる貢献も誓いました。

2013 年を振り返りますと、私にとっては初めて理事長職を承認いただき、5 月の総会までは、まず 2 年間の行動を共にする三役さんの確定、そして理事長方針をご理解いただくことと、事業計画を立てる準備に追われました。四国の田舎者でありましたので、三役さんには私にない能力・経験・知恵をお持ちで、経営・年齢・地域バランスも考慮し、この方しかいないと思える実力者にご無理をお願いしました。頼りないトップでありましたので、躊躇なされたことと思いますが、何とかお受けいただきました。理事長方針のキャッチフレーズは、「100 年続くダスキンへ」—強くなやかな加盟店づくり—となりました。何度も自問自答しながら、自分に何ができるか、これからのダスキン加盟店に何が必要か、三役さんに相談しながら考え抜いたつもりです。

企業や経営体の存在目的は、①社会性の追求②教育性の追求③収益性の追求であると、言われています。企業を少しでも長く永續させ、地域社会へ貢献していくことが、特に我々中小企業の大命題であると思っています。いみじくも、50 年前の創業時に鈴木清一氏は地にひれ伏し、「この会社が世間の役に立たぬ悪いことばかりする会社なら、一日も早くいきづまって会社がつぶれるようにしてください。」と、神に祈られたそうです。ダスキンの創業理念である「道と経済の合一」を目指し、事業も企業もそこに関わる人が日々生まれ変わる自己革新の場であること、自分にあえて「損の道をゆく」ことを選び、相手には「喜びのタネまき」をすること、社会に心の豊かさや生きがいを提供していくことを宣言されました。この「祈りの経営」経営理念こそが、ダスキンが誕生した祈りの原点であり、我々加盟店の使命と役割は経営理念の実践にこそあると思います。

理事長になり、多くの方々との出会いを得ました。特に全国を廻り、地域に深く根差した素晴らしい加盟店を訪問し対話を重ねさせていただき、多くの学びをいただきました。成功者と思われる加盟店経営者に共通して言えることは、皆さん、素直で勉強熱心、前向き、謙虚、プラス思考、会社や地域・仲間を愛し、高い理想を持ち、最後までやり遂げる実行力の強い方ばかりです。地方にこそ、成功店の多くが存在しています。

この成功条件の第一番、「素直」とは、先入観や固定観念を持たずに人の意見を聞く・教わるということができる性格だそうです。人は、年齢や経験を重ねるほど、小成功に甘え、自分が正しいと傲慢になりがちですが、案外狭い世界の中、限られた情報の中にいるものです。知らないことの方が多いのです。視野が狭く、自分のことにしか気づかず、他を攻め批判ばかりしていると、どんどん孤立していきます。自分一人の個人ならまだしも、我々はリーダーという立場にあります。家庭の中では親であり、会社では社長もしくは幹部なのです。多くの仲間や部下を抱えています。大きな責任があります。経営学を含めた人間力を高める勉強をし続ける必要があります。

私たちは、フランチャイズシステムという大きな傘に守られながらも、個々は独立した組織体です。理念(運命)共同体であるダスキン加盟店としての使命と役割を果たし、自店・自社を継続させ、雇用を維持し、地域社会に貢献していく責任があります。ですから素直に学び続け、意欲を持って加盟店経営に取り組むのです。誰よりも多く学び続け実践することが、加盟店経営者の責務です。もちろん本部には、より良い政策の実現を求め、意見具申を行います。

2014 年は、改めて加盟店会(理事会)がどうあるべきか、何のために存在するのか、その目的や在り方を理事の皆様と確認し合いたいと思います。そして、2 年目を迎えますので、委員会の活動内容を更に充実させ、10 月 3・4 日の全国経営者勉強会で会員の皆様に発表をさせていただきます。皆で学び合い、強みを活かし合い、助け合い、個々が強くなやかになり、全体を盛り立て、100 年続くダスキンを作り上げましょう。

本年は、午年(うまどし)です。甲午(きのえうま)は、旧来のしきたりや陋習(ろうしゅう=悪いならわし)を打ち破る、革新的な動きが出てくる年回りといわれています。4 月からの消費税の引き上げを始め、社会情勢は混沌とし益々厳しくなりそうですが、気を引き締め、仕事上では先手を打っておくべきことがあります。自店の事で恐縮ですが、今期は以下の事を徹底してきました。①分離礼・停止礼・きれいな言葉使いと身だしなみ②健康おそうじと毎日モップ掛けのお伝え③カード決済とゆうちょ引落し④サービス品メンテナンスとクリーニング⑤SHM 等旧商品の早めの切り替え、の 5 つです。実は①と②についてはこの数年を掛けて実施していますが、道尚遠しです。私たちには私たちにできる、商品知識を高める・サービスマナーの向上・人間性を磨く等、するべきことがいくつもあります。少なくとも、近所にあるコンビニストアさんに、負けてはなりません。単なる販促やキャンペーンなどではなく、サービス業の本質を高め、ひとづくり(教育)に徹することは当たり前のことです。

どうか、今年は加盟店間での善意の競争(共創)をやっていきましょう。本年が皆様にとって幸多き良き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

ありがとうございました。 合掌

* 新居浜支店の皆さまへ

今年のお正月は、本当に良いお天気続きでした。寒い冬の間は、温かい躍動の春に向けての準備期間でもあります。備えあれば憂いなし。特に、HS・BS では消費税対策について何度も話し合ってください。少々の減少はやむを得ないとしても、解約・休止は何とか食い止めたいと思います。日頃から、お客さまを大事にお世話いただいているハーティさんたちには、尚一層ご尽力くださいますようお願いいたします。寒さ厳しい折、健康管理に留意されご自愛ください。

